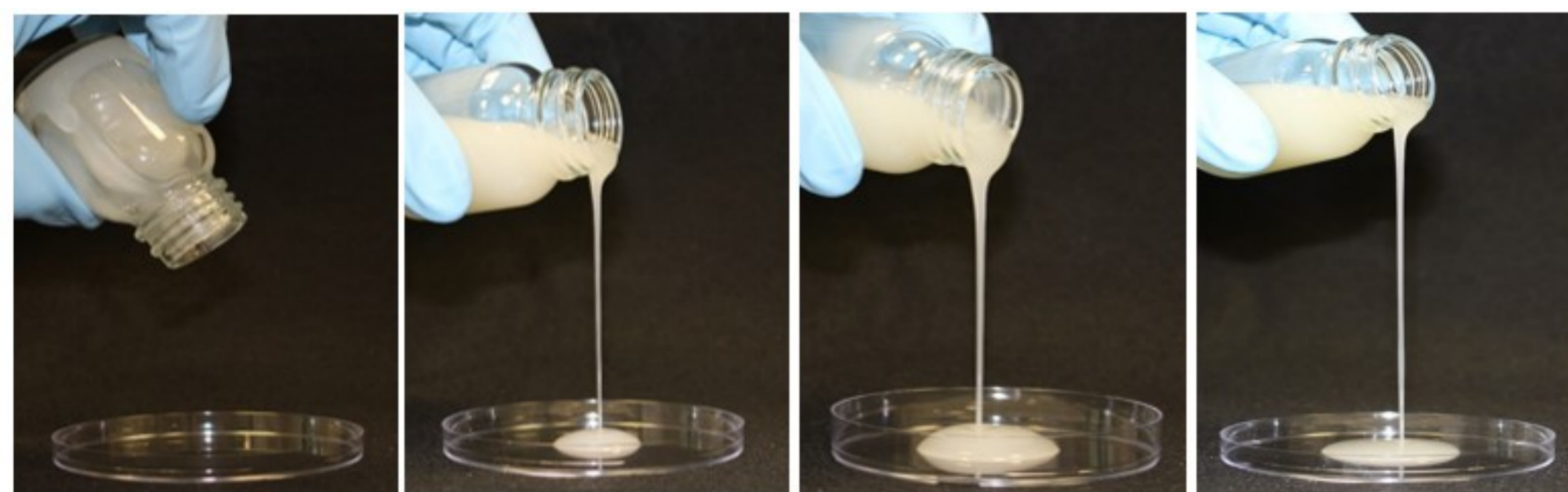


つや消しシリカ向け湿潤分散剤

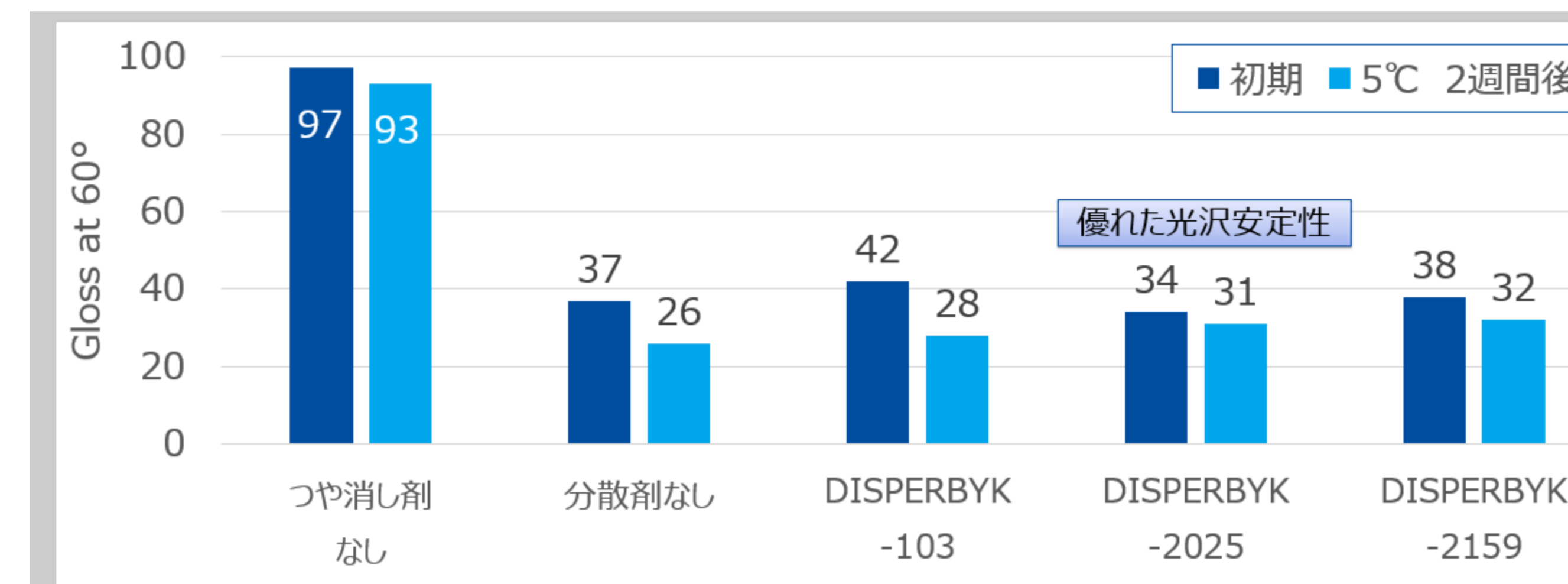
フラットベースでの減粘効果

湿潤分散剤を使用することで、大きく粘度を下げる事が可能になります。



フラットベース 配合	湿潤分散剤なし	DISPERBYK-103 SOP 20%	DISPERBYK-2025 SOP 20%	DISPERBYK-2159 SOP 20%
混合溶剤 (アクリル/メタクリル/ブチルアセテート/Solvesso150ND=1/1/1)	82.7	74.2	77.9	77.0
湿潤分散剤	-	8.5	4.8	5.7
つや消しシリカ (Syloid ED 30)	17.0	17.0	17.0	17.0
RHEOBYK-410 (洗剤防止)	0.3	0.3	0.3	0.3
Total	100.0	100.0	100.0	100.0

つや消し効果の安定性



ポリエステルメラミン塗料
フラットベース中のつや消し剤含有量：17%
(Syloid ED 30)
分散剤添加量：SOP 20%
全配合中のつや消し剤含有量：5%

DISPERBYK-2012 水系での第一推奨製品

特徴

- 水希釈系およびエマルション用樹脂あり
顔料分散における第一選択肢
- 特に、下記の広範囲の顔料を適切に分散安定化：
- 透明および不透明有機顔料 - カーボンブラック
- 樹脂あり分散時に高性能水系BYK製品と幅広い相溶性あり
- pHの影響を受けやすい系の安定性にマイナスの影響なし
- スラリー分散時に配合可能な成分：
- アミン - 増粘剤 - 界面活性剤 - 共溶剤
- VOC含有量は1500 ppm以下

DISPERBYK-2012 の分子構造



推奨湿潤分散剤

製品名	NV%	溶剤	酸価 / アミン価	適用系	特徴
DISPERBYK-103	40	メトキシプロピルアセテート	- / -	溶剤型	シリカ向け第一推奨製品。中程度～高い減粘効果。安定性も高い。
DISPERBYK-2025	70	メトキシプロピルアセテート	38 / 37	溶剤型	優れた減粘効果。ACEMAT TS 100には不適。
DISPERBYK-2159	60	メトキシプロピルアセテート	- / 13	溶剤型	非常に強い減粘効果が必要な際に最適。ACEMAT TS 100にも著効。
DISPERBYK-2012	40	水	7 / 7	水系	水系での第一推奨。
DISPERBYK-2158	60	DPGDA	- / 13	無溶剤型UV硬化タイプ	DISPERBYK-2159と溶剤違い。反応性希釈剤に溶解。

フラットベースでの推奨添加量：つや消しシリカに対して湿潤分散剤有効成分で15-25%

DISPERBYK-2158 DISPERBYK-2159

特徴

- 表面処理、および未処理のシリカ系艶消し剤の優れた分散安定化
- 優れた減粘効果とチキソトロピー流動性の最小化 (ニュートニアン流動性)
- 高濃度の艶消し剤の添加が可能 良好な加工粘度を有するディープマットコーティングの製造に最適
- 無溶剤型および溶剤型UV硬化系塗料および汎用溶剤型塗料の艶消し性を大幅に向上
- 各種汎用オリゴマーおよびモノマーに最適な相溶性

ビックケミー・ジャパン株式会社 www.byk.com/jp

東京 03-6457-5501(代)

大阪 06-4797-1470(代)